

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設耐震化推進事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	II 2 1 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第5条		関係する計画、通知等	水道施設の技術的基準を定める省令 水道ビジョン				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設の耐震化について、簡易診断から耐震化計画策定のためのノウハウを整理し、簡易診断すら実施していない事業者が多数存在する中小規模の水道事業者等を対象に耐震化計画の策定を促すことにより、早急な取組が必要とされる水道施設の耐震化を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	この度の東日本大震災を踏まえて、新たに得られた災害対策の知見を「水道の耐震化計画策定指針」に盛り込んで改定を行うとともに、水道事業者によって大きな差のある耐震化の進捗状況の底上げを図るため、モデル事業の実施等により中小規模の水道事業者等による具体的な計画策定の方法論を整理する。 (1)耐震診断(簡易診断)モデル事業(平成24年度実施) (2)耐震化計画策定モデル事業(平成25年度実施) (3)水道の耐震化計画策定指針の改定(平成26年度実施)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算				15	13	
		繰越し等						
		計				15	13	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	耐震化計画策定率	成果実績	%	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実施モデル事業数 (実施は平成24年度以降)		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	約500~750万円		算出根拠	予算額/実施予定モデル事業数(2~3件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	15	13					
	計	15	13					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	重要なライフラインの1つである水道施設の耐震化については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	中小規模の水道事業者等を対象に耐震化計画の策定を促すことは全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>重要なライフラインの1つである水道施設の耐震化については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。</p> <p>また、耐震化を進める上で、水道施設の簡易診断から耐震化計画策定のためのノウハウがない水道事業者が存在することが課題となっており、ノウハウのない地方自治体、民間等では検討が進まないことが想定されるため、国で実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、水道施設の耐震化について、新たに得られた災害対策の知見を「水道の耐震化計画策定指針」に盛り込んで改定を行うとともに、耐震化の進捗状況の底上げを図るため、中小規模の水道事業者等による具体的な計画策定方法の整理に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0009

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					